

＝ 令和 5 年度 ＝

摂津市教育推進プラン

摂津市教育委員会

目 次

1 . はじめに	P 1
2 . 教育推進プランの位置付け	P 1
3 . 施策体系	P 2
4 . 具体的な取組	P 4
目標 1 . 豊かな心を育む教育	P 5
目標 2 . 確かな学力を育む教育	P 8
目標 3 . 健やかな体を育む教育	P 1 3
目標 4 . 社会を生き抜く力を育む教育	P 1 5
目標 5 . とともに学び育つ教育	P 1 8
目標 6 . 学びを続ける機会づくり	P 2 2
目標 7 . 学びを支える環境づくり	P 2 5
目標 8 . 学びを活かす人づくり	P 2 8
目標 9 . 安全安心で快適な教育環境づくり	P 3 0
目標 10 . 地域全体で教育に取り組む体制づくり	P 3 4
参考 . 摂津市が配置等している支援人材一覧	P 3 7

1. はじめに

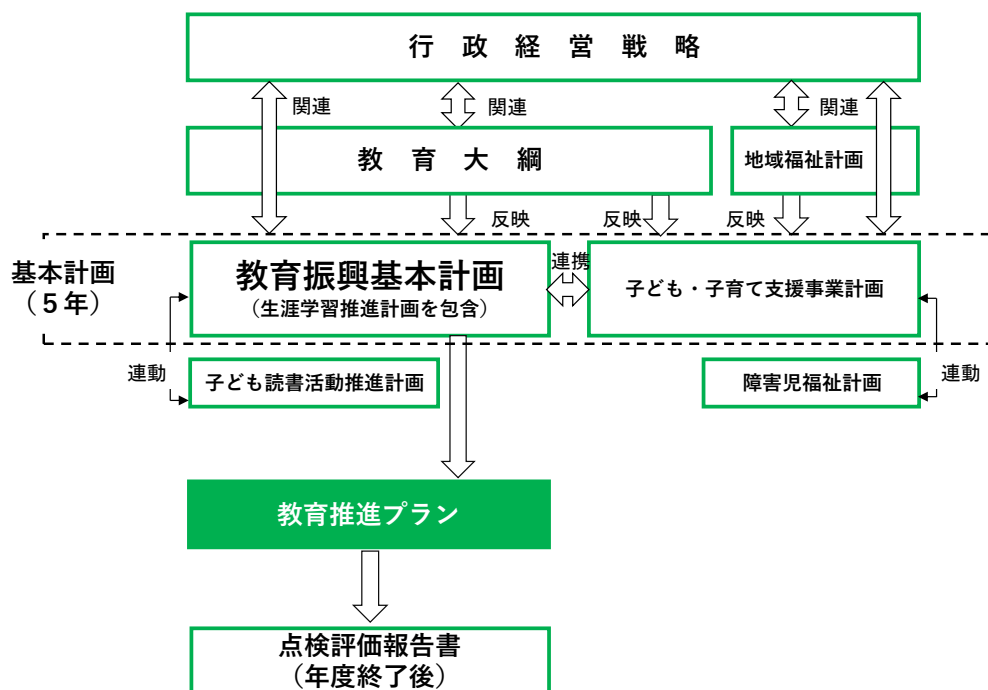
つながり 未来を拓く せつつの教育

摂津市教育大綱には教育理念として「つながり 未来を拓く せつつの教育」が掲げられています。そこには市民一人ひとりが自立した人間として、人や社会（まち）とつながりながら生きる喜びを感じ、豊かな感性と創造力を輝かせ、新しい未来を切り拓いてほしいという思いが込められています。

本市教育委員会では、この教育大綱の教育理念に基づき、中長期的な視点で教育の振興に取り組むため、摂津市教育振興基本計画を策定しました。教育推進プランは、摂津市教育振興基本計画の目標達成のためのアクションプランとして単年度に取り組む内容を計画しています。

2. 教育推進プランの位置付け

本計画は、摂津市行政経営戦略の「教育」に関する分野の計画である教育振興基本計画のアクションプランとして位置付けられており、策定に当たっては、子どもに関する他施策との整合性を図り策定しています。また、計画の進捗管理については、PDCAサイクルに基づいて行うとともに、教育委員会に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を公表します。



3. 施策体系

教育理念	基本方針	基本目標	施策	重点	事業（取組）名
つながり 未来を拓く せつつの教育	1. 一人ひとりの「生きる力」を育みます ～学校教育・就学前教育の充実～	1 豊かな心を育む教育	① 道徳教育の推進		道徳教育の充実
			② 人権教育の推進		人権教育推進事業
					国際理解教育推進事業
		2 確かな学力を育む教育	③ 読書活動の推進		日本語指導教育事業
					小中学校管理運営事業
					学校読書活動推進事業
				★	学力向上推進事業
			④ 授業改善の推進		小中学校教育用コンピューター事業
					学校マネジメント支援事業
					研修事業
		3 健やかな体を育む教育	⑤ 学習内容・学習習慣の定着		学校教育相談員配置事業
					学校マネジメント支援事業（再掲）
			⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進		学力向上推進事業（再掲）
				★	就学前教育・保育推進事業
	2. 人生100年時代の学びと活躍を推進します ～生涯学習の推進～	4 社会を生き抜く力を育む教育	⑦ 運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着		キャリア教育推進事業
					運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進
		5 ともに学びに育つ教育	⑧ 学校体育・部活動の推進		小・中学校給食事業
					全国・運動能力、運動習慣等調査
		6 学びを続ける機会づくり	⑨ 新たな教育の推進	★	学校部活動等助成事業
				★	英語教育推進事業
				★	小中学校教育用コンピューター事業（再掲）
		7 学びを支える環境づくり	⑩ 支援教育の推進	★	キャリア教育推進事業（再掲）
					防災教育の推進
				★	特別支援教育推進事業
	3. 安全で安心な学びの場をつくり ～教育環境の整備～	8 学びを活かす人づくり	⑪ 相談体制の充実		就学児指導事業
					教育相談事業
					進路選択支援事業
		9 安全安心で快適な教育環境づくり	⑫ 生徒指導の充実	★	生徒指導体制推進事業
					教育相談事業（再掲）
					適応指導教室事業
		10 地域全体で教育に取り組む体制づくり	⑬ 多様な学習機会の充実		公民館講座開催事業
					家庭教育学級事業
					生涯学習出前講座開催事業
		11 安全安心で快適な教育環境づくり	⑭ 学習成果の発表・活躍の場の充実		生涯学習推進本部運営事業
					文化財保護事業
					摂津市史編さん事業
		12 安全安心で快適な教育環境づくり	⑮ 社会教育施設の活用		公民館まつり事業
					生涯学習フェスティバル開催事業
					こどもフェスティバル開催事業
		13 安全安心で快適な教育環境づくり	⑯ 多様な主体による指導者の育成		公民館運営事業
					図書館運営事業
					子ども読書活動推進事業
		14 安全安心で快適な教育環境づくり	⑰ 教育施設の整備		青少年団体育成事業
					青少年リーダー養成事業
					せつつ生涯学習大学事業
		15 安全安心で快適な教育環境づくり	⑱ 感染症の予防・対策	★	小中学校施設改修事業
				★	小中学校施設運営事業
				★	小中学校通学区区域等事業
		16 安全安心で快適な教育環境づくり	⑲ 学校給食の安全衛生管理		図書館施設管理事業・鳥飼図書センター施設管理事業
					小中学校保健事業
					学校マネジメント支援事業（再掲）
		17 安全安心で快適な教育環境づくり	⑳ 学校・家庭・地域の連携強化	★	中学校給食事業（再掲）
					小学校給食事業（再掲）
					学校協議会の積極的運営
		18 安全安心で快適な教育環境づくり	㉑ 子どもの安全見守り活動の充実		積極的な情報発信
					地域学校連携活動支援事業
				★	小学校施設改修事業（再掲）・安全対策事業
		19 安全安心で快適な教育環境づくり	㉒ 子どもの安全見守り活動の充実		スクールガード・リーダー配置事業
					小中学校通学区区域等事業（再掲）
					地域子ども安全安心事業

★：重点事業（施策推進にあたり、令和5年度に重点的に取り組む事業【新規事業や拡充事業等】）

基本目標

1

豊かな心を育む教育

授業や体験活動、学校行事等を通じて、言葉や文章、事象、自然、文化等に触れることで、人としての感性を磨き、心を豊かにします。また他者との関わりを通して築く人間関係は人生を豊かにします。教育基本法第1条に基づき、教育の目的である「人格の完成」をめざし、授業や体験活動、学校行事等を通じて、他人を思いやる心や生命尊重の心、自己肯定感の向上、自制心や規範意識の向上を図り、子どもたちの豊かな心や人間性を育みます。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	「自分にはよいところがあると思う」と肯定的を回答した児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	69.6%	75.0%	77.7%
2	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	72.7%	72.8%	72.9%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

摂津市教育振興基本計画に掲げる指標を記載しています。

「R5 目標値」には、「R7 目標値」の達成に向けて令和5年度に到達すべき目標値を記載しています。

事業（取組）名	学力向上推進事業	担当課	学校教育課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	23,527 千円（6,235 千円）	
取組内容	・学力及び学習状況の調査結果から、各学校における児童生徒の学力課題を分析し、知識・技能の習得とそれを活用する力を育てるため、大学教授や指導主事を招聘した研究授業			
	事業（取組）ごとに令和5年度の取組内容等を記載しています。新規事業、拡充事業等重点的に取り組む事業には事業（取組）名の後ろに【重点事業】と標記しています。			
指標名	①意識調査※ ¹ （3月実施）で「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合 ②学年毎の同一集団で摂津市学力定着度調査※ ² 及び府中学生チャレンジテストの結果が前年度以上の学年数 ③全国学力・学習状況調査における無回答率の平均値の対全国比	R3 実績値	R5 目標値	
		① 48.3% ②(小)51% (全100学年※ ³ のうち51学年) (中)50% (全30学年※ ⁴ のうち15学年) ③(小)0.93 (中)1.17	① 49.3% ②(小)60% (全100学年のうち60学年) (中)60% (全30学年のうち18学年) ③ (小) 0.92 (中) 1.12	

事業（取組）の進捗状況をはかるための指標を設定し、令和3年度の実績値及び令和5年度の目標値を記載しています。

4. 具体的な取組

基本目標
1

豊かな心を育む教育

授業や体験活動、学校行事等を通じて、言葉や文章、事象、自然、文化等に触れることで、人としての感性を磨き、心を豊かにします。また他者との関わりを通して築く人間関係は人生を豊かにします。教育基本法第1条に基づき、教育の目的である「人格の完成」をめざし、授業や体験活動、学校行事等を通じて、他人を思いやる心や生命尊重の心、自己肯定感の向上、自制心や規範意識の向上を図り、子どもたちの豊かな心や人間性を育みます。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	「自分にはよいところがあると思う」と肯定的を回答した児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	69.6%	75.0%	77.7%
2	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	72.7%	72.8%	72.9%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

①道徳教育の推進

答えが一つでない課題に児童生徒が道徳的に向き合い、共感性やコミュニケーション力、規範意識や人権意識など社会の一員として自立するためとなる基盤の力を育みます。

事業（取組）名	道徳教育の充実	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・道徳教育の授業改善に向け、教員を対象教材研究や児童の評価方法に関する研修を実施する。 ・小中学校が作成する「特別の教科道徳」を要とした道徳教育の全体計画や年間指導内容実績表等で道徳教育の進捗状況を把握し、担当者会等で指導助言を行う。			
指標名	「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】 (小６・中３平均)	R3 実績値	R5 目標値	
		小 6 76.9% 中 3 78.4%	小 6 85.0% 中 3 85.0%	

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

②人権教育の推進

女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、在日外国人等にかかる人権問題に対して、児童生徒の発達段階に応じた学習を進め、身近な差別や偏見に気づく人権感覚の醸成を図ります。また、教職員の人権意識と指導力の向上を図ります。

事業（取組）名	人権教育推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	240 千円（60 千円）	
取組内容	・教職員が人権教育に関する知的理解と人権意識・人権感覚を醸成し、指導力向上を図るため、人権教育研修会を実施する。			
指標名	教職員アンケート「あなたは、日々の教育活動の中で、学校の人権教育推進計画に示されている自校の課題と目標、課題解決に向けた具体的な取組を意識していますか。」に「そう思う」と回答した割合	R3 実績値	R5 目標値	
		—(*)	30.0%	

事業（取組）名	国際理解教育推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,880 千円（1,880 千円）	
取組内容	・児童生徒が他国・他地域の言語や文化について、活動を通じて学ぶため、学校へ国際理解教育社会人講師★を派遣する。			
指標名	①国際理解教育社会人講師派遣時間数 ②教職員アンケート「あなたの学校では、日本以外の国の言語や文化について学ぶ機会を設け、児童生徒が多様性について学ぶ機会を設けることができていると思いますか。」に「そう思う」と回答した割合	R3 実績値	R5 目標値	
		①462 時間 ② ー(*)	①510 時間 ②35.0%	

事業（取組）名	日本語指導教育事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	9,853 千円（9,328 千円）	
取組内容	・海外からの帰国子女及び渡日児童生徒等に対し、一人ひとりの課題に応じた日本語指導及び母語指導等の支援を行うため、日本語指導講師★を派遣する。 ・帰国渡日児童生徒及びその保護者とのコミュニケーションを円滑に行うため、小中学校に各 1 台 AI 通訳機を配備する。			
指標名	教職員アンケート「あなたの学校では、日本語指導を実施するにあたって組織的な体制が構築されていると思いますか。」に「そう思う」と回答した割合	R3 実績値	R5 目標値	
		—(*)	30.0%	

(*) アンケート実績がないため、R5 に新規アンケートを行います。

★の説明は 37 頁に記載しています。

③読書活動の推進

読書活動を推進し、児童生徒の言語能力を高めるとともに、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きていく力を身に付けるよう支援を行います。

事業（取組）名	小中学校管理運営事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	119,089 千円（8,000 千円）	
取組内容	・新たな図書の購入や古い本の廃棄、買い替え等により学校図書館整備及び充実を図り、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を支援する。			
指標名	児童生徒アンケートにおいて「学校図書館に読みたい本がある」と回答した割合	R3 実績値		R5 目標値
		—(*)		80.0%

事業（取組）名	学校読書活動推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	18,969 千円（17,447 千円）	
取組内容	・小学校図書館で児童が本に親しみやすい工夫を行うなど本と出会う機会を増やし、自主的な読書活動を支援する学校読書活動推進支援員★を全小学校に各 1 名配置する。			
指標名	「学校の授業時間以外に、一日あたり 10 分以上読書している」と回答した児童の割合【◆】	R3 実績値	R5 目標値	
		48.7%	55.0%	

(*)アンケート実績がないため、R5 に新規アンケートを行います。

★の説明は 37 頁に記載しています。

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

基本目標
2

確かな学力を育む教育

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちにとって、学校教育とは次代の社会を担うための土台作りの場です。子どもたちが社会に出てからも学んだことを生かせるように学習意欲を高め、自ら学び、主体的に行動し、よりよく問題を解決できるように、確かな学力を育みます。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比（全国を1とした場合）	(小6)0.96 (中3)0.95	(小6)0.99 (中3)0.97	(小6)1 (中3)1
2	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	72.2%	73.0%	73.5%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

④授業改善の推進

学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。

事業（取組）名	学力向上推進事業	担当課	学校教育課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	23,527 千円（6,235 千円）	
取組内容	・学力・学習状況調査の結果から、各学校における児童生徒の学力課題を分析し、知識・技能の習得とそれを活用する力を育てるため、大学教授や指導主事を招聘した研究授業を行うなど、授業改善を中心とする学力向上に向けた取組を行う。 ・学習指導要領が示す目標に向け、研修支援や研修会を実施し、各校の授業づくりを支援する。			
指標名	①意識調査※¹（3月実施）で「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合 ②学年毎の同一集団で摂津市学力定着度調査※²及び府中学生チャレンジテストの結果が前年度以上の学年の割合 ③全国学力・学習状況調査における無回答率の平均値の対全国比	R3 実績値	R5 目標値	
		① 48.3% ②(小)51%※³ (中)50%※⁴ ③(小)0.93 (中)1.17	① 49.3% ②(小)60%※³ (中)60%※⁴ ③(小)0.92 (中)1.12	

※1 意識調査：市教育委員会が児童生徒の学友意欲等を把握し、「魅力ある学校づくり」を進めていくために実施するアンケート調査

※2 摂津市学力定着度調査：市教育委員会及び各学校が児童の学習の定着状況を経年変化で把握し、指導に生かすために実施する学力調査（対象：小学1年生から6年生まで）

※3 指標②小学校実績値・目標値の考え方：

小学2年生から6年生までの5学年×10校×2教科（国語、算数）のうち、前年度以上の学年の割合

※4 指標②中学校実績値・目標値の考え方：

中学2年生から3年生までの2学年×5校×3教科（国語、数学、英語）のうち、前年度以上の学年の割合

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ 一事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	76,411 千円（76,411 千円）	
取組内容	・ ICT の効果的かつ日常的な活用のため、情報活用能力の育成を意識した授業づくりのための研修を実施する。 ・ ICT 教育推進リーダー教員※を中心に、ICT の活用による授業力改善や学力向上に向けた取組を市内に普及させる。（特に【思考力・判断力・表現力等】の観点）			
指標名	教職員アンケートで「児童生徒に ICT 機器を活用させ、資料作成（レポート等）の指導ができる」と回答した教職員の割合	R3 実績値	R5 目標値	
		67.7%	90.0%	

※ICT 教育推進リーダー教員：ICT 機器を使用した授業を先進的に取組、各学校の活用事例を他校に広めるために中心となる教員

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	198,576 千円（7,200 千円）	
取組内容	・小中学校の研究授業・研究協議の支援を行うとともに、研究重点校として指定した学校の取組を支援し、他校への普及に向けて取組成果を発信する。			
指標名	意識調査（3月実施）で「授業がよくわかる」と回答した児童生徒の割合	R3 実績値	R5 目標値	
		50.8%	52.0%	

事業（取組）名	研修事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	849 千円（849 千円）	
取組内容	・教職員の資質向上のため、各教科の授業づくりや児童生徒の発達を支える指導の充実に向け、課題別研修及び経験年数に応じたステージ別研修を実施する。			
指標名	教職員研修参加者へのアンケート「研修の内容を学校の取組に活かす」への肯定的回答の割合	R3 実績値		R5 目標値
		99.0%		100%

事業（取組）名	学校教育相談員配置事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	5,931 千円（5,931 千円）	
取組内容	・授業づくりの支援など初任者を中心に経験の浅い教員の指導力向上を図るため、学校教育相談員★を1名配置する。			
指標名	初任者研修における自己評価*の合計ポイントの上昇幅の平均		R3 実績値	R5 目標値
			25.7 ポイント	25.0 ポイント

★の説明は37頁に記載しています。

※初任者研修における自己評価：120ポイントを満点として初任者研修終了後に教職員が自己評価を行う。

（年間3回の自己評価のうち第1回と第3回の合計ポイントを比較する。）

⑤学習内容・学習習慣の定着

授業中の児童生徒の学習内容の理解を促進するための支援人材を学校に配置するとともに、学習習慣の定着を図るため、地域や家庭の事情等により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行います。

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業 （再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	198,576 千円（11,250 千円）	
取組内容	・授業中や放課後等における児童生徒の学習活動を支援するため、学習サポーター★を各校に派遣する。			
指標名	教職員アンケートにおいて「学習サポーターの活用により、業務軽減や子どもたちの学習支援につながっていると思う」の肯定的回答の割合	R3 実績値	R5 目標値	
		—（*）	80.0%	

事業（取組）名	学力向上推進事業（再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	23,527 千円（17,026 千円）	
取組内容	・市内 6 会場で小学 6 年生から中学 3 年生を対象に「摂津 SUNSUN 塾※ ¹ 」を実施する。（年間 60 回、教科は国語、算数・数学）			
指標名	① 塾内理解度確認テスト※ ² の伸長率（入塾時の5月現状値を1.0とする） ②平日及び休日に 1 時間以上学習する児童生徒の割合の増加（5月現状値を 1.0 とする）	R3 実績値	R5 目標値	
		① 小 6 1.03 中 1 0.99 中 2 0.97 中 3 1.04 ② 平日 1.06 休日 1.16	① 全学年1.05 以上向上 ② 平日・休日 ともに 1.20 以上	

※1 摂津 SUNSUN 塾：摂津市が民間委託する無料塾。保護者はテキスト代、テスト代のみ負担する。

※2 塾内理解度確認テスト：委託事業者が作成する各教科の理解度を確認するテスト。

★の説明は 37 頁に記載しています。

(*)アンケート実績がないため、R5 に新規アンケートを行います。

⑥就学前教育・小中一貫教育の推進

子どもの学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養うなど、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担う就学前教育の充実と、小学校生活への円滑な接続を図ります。

義務教育終了時点で、社会において自立して生きる力を育むために、一貫した目標のもとで9年間の義務教育を計画的に行います。

事業（取組）名	就学前教育・保育推進事業	担当課	こども教育課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	270 千円（180 千円）	
取組内容	・公私立の就学前教育・保育施設の保育教諭や保育士・幼稚園教諭と小学校教諭の資質・能力の向上及び教職員同士の交流を図るため、就学前教育保育実践の手引き（令和４年度改訂版）を活用した合同研修会を開催する。 ・就学直前の園児が円滑に小学校生活へ移行できるよう、園所・小学校・関係各課と連携を図りながら、５歳児対象の学校訪問や双方の教職員による相互参観を実施する。			
指標名	①研修アンケートにおける『今後の職務に活かすことができる』と回答した割合 ②幼小連携事業アンケートにおける肯定的評価の割合	R3 実績値	R5 目標値	
		①96.0% ②—（*）	①95.0%以上 ②95.0%以上	

事業（取組）名	キャリア教育推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,009 千円（80 千円）	
取組内容	・義務教育 9 年間を見据えた「めざす子ども像」の実現に向け、中学校区で合同研修などの校種間連携の機会を設け、学習指導・生徒指導等の充実を図る。			
指標名	「自分にはよいところがある」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】		R3 実績値	R5 目標値
			69.5%	75.0%

(*) アンケート実績がないため、R5 に新規アンケートを行います。

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

基本目標
3

健やかな体を育む教育

人生100年時代と言われる中、子どもたちが生涯にわたって健康で充実した生活を過ごすため、運動やスポーツ活動、学校保健活動を通じた体力や運動能力の向上と、基本的生活習慣の定着を図ります。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査※の体力合計点の対全国比【全国を1とした場合】（小5・中2平均・男女別）	(男)0.94 (女)0.94	(男)0.98 (女)0.97	(男)1 (女)1
2	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合（小5・中2平均・男女別）	(男)59.8% (女)46.5%	(男)67.0% (女)49.0%	(男)69.5% (女)51.2%

※全国体力・運動能力、運動習慣等調査：子どもたちの体力向上と生活習慣改善を図るための調査。

小学5年生と中学2年生を対象に運動能力に関わる実技調査8項目と運動調査等の質問紙調査を実施している。

施策及び事業（取組）

⑦運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着

運動意欲、体力の向上には、子どもたちの運動機会の増加と生活習慣の改善、そして何より体を動かすことが楽しいと感知することが重要です。子どもたちの健康教育・体力づくりを進め、生涯にわたる心身の健康の保持増進の基礎を培う支援を行います。

事業（取組）名	運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進	担当課	教育支援課・学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査により、児童生徒の運動習慣や生活習慣の実態を把握し、運動への興味関心を深め、体力づくりの土台となる食事・睡眠などの基本的な生活習慣の定着を図る。 ・栄養教諭による食生活や栄養についての授業を通し、児童生徒の食に対する意識向上を図る。また、『食育だより』や学校のホームページを活用して、家庭や地域に向けて取組の発信を行う。			
指標名	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合（小５・中２・男女別）	R3 実績値	R5 目標値	
		男 59.8% 女 46.5%	男 67.0% 女 49.0%	

事業（取組）名	小中学校給食事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	513,675 千円（－）	
取組内容	・「えいようだより」や「学校給食通信」を通じ、児童生徒や保護者が日常生活において栄養バランスに配慮した食事を選択する力を育成する。			
指標	保護者アンケート「『えいようだより』や『学校給食通信』の発信により、食への関心が高まったと思う。」と肯定的回答をした割合	R3 実績値	R5 目標値	
		—(*)	70.0%	

⑧学校体育・部活動の推進

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析をもとに、体力向上に向けた授業改善や体育活動を支援します。また、中学校における生徒の心身の健全な成長や社会性、団結力を高める部活動や、生涯を通じて運動に親しむ資質や能力を身につける取組の支援を行います。

事業（取組）名	全国・運動能力、運動習慣等調査	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査結果を踏まえ、体力づくり推進計画(アクションプラン)を作成し、各校の体力向上の取組や体育の授業の充実を図る。 ・担当者会を実施し、実践的な取組の研修を行う。			
指標名	体力合計点の府平均以上校数（男女別）	R3 実績値		R5 目標値
		男 5/15 校 女 2/15 校		男 8/15 校 女 5/15 校

事業（取組）名	学校部活動等助成事業 【重点事業】	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	6,927 千円（4,848 千円）	
取組内容	・生徒が運動や文化活動に親しみ、技術力や社会性を身に付ける部活動を支援するとともに、教職員が部活動に従事する際の負担を軽減するため、各中学校に 1 名増員して部活動指導員★を派遣する。			
指標名	学校の希望に対し部活動指導員を派遣した部活動数の割合	R3 実績値	R5 目標値	
		71.0%	100%	

(*)アンケート実績がないため、R5 に新規アンケートを行います。

★の説明は 37 頁に記載しています。

基本目標
4

社会を生き抜く力を育む教育

グローバル化は我々の社会に多様性をもたらし、また、急速な情報化や技術革新は日常生活を質的にも変化させつつあります。こうした社会的変化の影響が、身近な生活も含め社会のあらゆる領域に及んでいる中で、教育の在り方も新たな事態に直面しています。子どもたちに、現在と未来に向けて、粘り強く、自らの人生を拓き、社会を生き抜く力を育みます。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	67.2%	72.2%	74.7%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

⑨新たな教育の推進

子どもたちが社会の変化に柔軟に対応し、課題を自ら解決する力、グローバル化や情報化社会に対応できる言語能力や情報活用力など、自らの可能性を発揮し、よりよい社会の創り手となるための教育を推進します。

事業（取組）名	英語教育推進事業	担当課	教育支援課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	26,591 千円（26,591 千円）	
取組内容	・小学校から中学校への英語教育の円滑な接続のため、小中連携したカリキュラムづくりを推進する。 ・児童生徒の英語力向上及び教員の指導力向上のため、授業づくりの支援及び助言を行う外国語活動支援員★を1名派遣する。 ・授業時の英語を使ったコミュニケーション機会の充実のため、外国人英語指導助手（ALT）★を6名派遣する。また、バンダバーグ市の学生と本市の生徒とオンラインでの交流会を実施する。			
指標名	①英語教育に係るアンケート（市内全児童対象）で「英語を話せるようになりたい」と肯定的回答をする児童の割合 ②英語力が CEFR A1※相当以上である生徒の割合（対象：市内中学校に在籍する3年生）	R3 実績値	R5 目標値	
		① 86.0% ② 50.1%	① 90.0% ② 50.0%	

※CEFR：語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格。CEFR A1 は実用英語検定 3 級と同程度のレベル。

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ 一事業【重点事業】（再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	76,411 千円（76,411 千円）	
取組内容	・令和４年度に導入したプログラミングロボット※ ¹ を発達段階に応じて効果的に活用するため、摂津市情報活用能力体系表※ ² を改訂し、児童生徒の「プログラミング的思考力」を育む。 ・全小中学校に情報モラル教育の支援教材を導入する。			
指標名	摂津市情報活用能力体系表の改訂	R3 実績値	R5 目標値	
		—	摂津市情報活用能力体系表の改訂	

※1 プログラミングロボット：PC 画面上で作成したプログラムを反映させ、実際にどのように動くのか、体験するためのロボット

※2 摂津市情報活用能力体系表：①ICT スキル ②プログラミング的思考 ③情報モラルの 3 つの観点について、発達段階別に目標を示した一覧表

★の説明は 37 頁に記載しています。

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

事業（取組）名	キャリア教育推進事業（再掲）【重点事業】	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,009 千円（1,929 千円）	
取組内容	・摂津市キャリア教育推進委員会を開催し、各学校の取組を共有する。 ・教職員及び児童生徒対象のアンケート調査や教職員のワークショップ等を実施し、キャリア教育に係る学習プログラムの実効性を検証する。			
指標名	「将来の夢や目標を持っている」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	R3 実績値	R5 目標値	
		75.4%	80.0%	

事業（取組）名	防災教育の推進	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・各校の防災教育に関する計画及び進捗を確認し、市内各学校での防災教育の推進を支援する。			
指標名	教職員アンケート「あなたの学校では、児童生徒の防災意識を向上させるような防災教育の取組が行われていると思いますか」に肯定的回答をした教職員の割合	R3 実績値	R5 目標値	
		—(*)	83.0%	

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

（*）アンケート実績がないため、R5 に新規アンケートを行います。

基本目標
5

とともに学び育つ教育

障害の有無に関わらず、集団の中で互いを尊重し、違いを認め合いながら、自尊感情を高め、大切にする態度を子ども一人ひとりに育むとともに、地域社会の一員として人や社会とつながり、支え合いながら、ともに学び育つ教育を推進します。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	78.9%	82.2%	83.9%
2	「友達と協力するのは楽しい」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	91.7%	92.9%	93.6%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

⑩支援教育の推進

障害の有無にかかわらず、全ての人が平等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼーションの理念のもと、支援学級担任や教職員の専門知識や指導技術の向上を図り、子どもたちが互いに認め合う教育を推進します。

事業（取組）名	特別支援教育推進事業	担当課	教育支援課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	15,295 千円（15,295 千円）	
取組内容	・教員の特別支援教育に関する専門性や指導技術を育成するため、各小中学校を巡回する特別支援教育推進専門員★を1名派遣する。 ・医療的ケアの必要な児童生徒への支援のため、看護嘱託員を配置する。 ・学校コンサルテーション実施校※¹として2校を位置づけ、自閉症・発達障害に関する研修や個に応じた適切な指導を行い、教員の専門性向上を図る。 ・コアティーチャー※²を中心に、支援教育コーディネーター連絡会や研修会を実施し、各学校での組織的な支援教育を推進する要となる教員の育成を図る。			
指標名	教職員アンケート「あなたの学校では支援を必要とする子どもの課題や支援の方法について学校全体で共有できているか」に肯定的回答をした教員の割合	R3 実績値	R5 目標値	
		—(*)	100%	

★の説明は37頁に記載しています。

※1 学校コンサルテーション実施校：専門家の指導のもと、学校全体で支援教育への取組を推進している先進校

※2 コアティーチャー：教育委員会が、各校の特別支援教育担当の中心である特別支援教育コーディネーターの中から選抜した、支援教育について特に深い見識を持った教員。

(*)アンケート実績がないため、R4より新規アンケートを行います。

⑪相談体制の充実

児童生徒の多様性を専門家が多角的・多面的に分析し、見立てることで、学校における効果的な指導や支援の充実を図ります。また、子育て等の悩みや就学・進学相談など、個々のニーズに沿った支援を行います。

事業（取組）名	就学児指導事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	414 千円（414 千円）	
取組内容	・教育関係者、福祉関係者及び必要に応じて医師等で構成する教育支援会議を開催し、児童生徒の就学先の選択や学校における支援の手立てについて適切な助言を行う。 ・就学前児童の保護者を対象とした就学相談説明会を実施し、一人ひとりの子どもの教育的ニーズに合った学びの場を選択する機会を提供する。			
指標名	支援学級入級または退級、及び支援学校転学を検討する児童生徒全員について教育支援会議を開催	R2 実績値		R4 目標値
		対象児童生徒全員について実施	対象児童生徒全員について実施	

事業（取組）名	教育相談事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	29,608 千円（29,608 千円）	
取組内容	・児童生徒・保護者及び教職員からの教育や発達等に関する相談に対応するため、教育センターに心理相談員を配置する。			
	・相談内容に応じ、早期解決に向けて医療や福祉等の関係機関と連携する。また、発達に関する相談があった場合は、必要に応じて児童生徒の発達検査を実施し、早期支援につなげる。			
指標名	保護者からの発達検査依頼に対する実施率	R3 実績値	R5 目標値	
		100%	100%	

事業（取組）名	進路選択支援事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	100 千円（100 千円）	
取組内容	・家庭の事情や経済的理由等で進学や修学が困難な生徒及び保護者に対する相談・支援を行う進路選択相談員★を教育センターに 1 名配置する。			
指標名	進路説明会における奨学金制度等の周知校数（中学校）	R3 実績値	R5 目標値	
		5 校/5 校	5 校/5 校	

★の説明は 37 頁に記載しています。

⑫生徒指導の充実

いじめ・問題行動や不登校等の状況は、その背景が複雑化しています。学校が保護者・地域とのつながりをさらに強め、関係機関とも連携して、未然防止・早期対応・再発防止に努め、全ての児童生徒の安全・安心を確保する取組を進められるよう支援します。

事業（取組）名	生徒指導体制推進事業	担当課	学校教育課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	29,163 千円（29,163 千円）	
取組内容	・各校の生徒指導事案の重篤化の防止に向け、事案に応じた専門家の派遣やスクールロイヤー（SL）※による法律相談を実施し、問題の早期解決につなげる。 ・各校の生徒指導に係る実態に応じて、スクールロイヤー等の専門家を講師として派遣し、教職員の指導力向上を目指すとともに、問題行動等の未然防止に努める。 ・スクールソーシャルワーカー（SSW）★5 名を各中学校区に週 4 日配置するとともに、新たにチーフスクールソーシャルワーカーを 1 名配置し、関係機関と連携を図りながら、問題行動等の早期対応・解決につなげる。 ・国から指定を受けた「こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」に基づき、不登校の未然防止に向けた生徒指導の在り方を研究する。			
指標名	①教職員アンケート「あなたの学校では、問題行動やいじめ、児童虐待が発生した場合、学校全体で対応する体制が整っていると思いますか」に「そう思う」と回答した割合 ②教職員アンケート「あなたの学校では、SC、SSW、SL 等、支援人材との連携を推進できていると思いますか」と回答した割合	R3 実績値	R5 目標値	
		① 57.4%	① 70.0%	
		② 36.3%	② 55.0%	

事業（取組）名	教育相談事業（再掲）	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	29,608 千円（29,608 千円）	
取組内容	・児童生徒や保護者の心理相談やケース会議等で専門的知見から教職員に助言を行うため、スクールカウンセラー（SC）★を週 1 日（学校規模に応じ週 2 日）各小学校に 1 名配置する。 ・生徒指導上の課題に対して早期にチーム対応を行うため、学校からの要望に応じて、心理相談員を教育センターから派遣する。			
指標名	いじめ事案への SC の関与率	R3 実績値	R5 目標値	
		100%	100%	

★の説明は 37 頁に記載しています。

事業（取組）名	適応指導教室事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	9,798 千円（9,798 千円）	
取組内容	・不登校の児童生徒に対する自立支援のため、パル（適応指導教室）での指導や小中学校へのさわやかフレンド★派遣を実施する。 ・パルの拠点拡充を進めるため、教育支援嘱託員★を1名増員する。			
指標名	パル通室生の学校復帰の割合	R3 実績値		R5 目標値
		53.0%		60.0%

★の説明は 37 頁に記載しています。

基本目標
6

学びを続ける機会づくり

教育基本法第3条では、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と生涯学習の理念が規定されています。「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」学習ができるよう、市民にあらゆる学習の機会を提供します。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	公民館講座アンケートで「これからも受講を継続したい」と回答した割合	88.3%	89.0%	R3 実績値より増加

施策及び事業（取組）

⑬多様な学習機会の充実

多様化するニーズに合わせた講座やイベント等の充実や学びのきっかけとなる情報提供及び相談体制の充実など、市民が学びつづける機会づくりを推進します。また郷土摂津を知り、地域の将来像を描くツールとして、本市の歴史をまとめた「新修摂津市史」を刊行します。

事業（取組）名	公民館講座開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	3,253 千円（3,253 千円）	
取組内容	・日常生活に役立つ知識や身近な課題など、市民の様々なニーズに合わせた講座を開催する。 ・自宅などから受講できるオンライン講座などを実施する。			
指標名	公民館講座アンケートにて、「これからも受講を継続したい」と回答した割合	R3 実績値		R5 目標値
		88.3%		89.0%

事業（取組）名	家庭教育学級事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	566 千円（566 千円）	
取組内容	・親をはじめとする大人が、家庭教育の重要性、家庭と社会とのつながり、家庭における人権問題について学習するため、家庭教育学級・幼児家庭教育学級・女性学級を開設する。 ・説明会の実施や市役所窓口にチラシを設置し、学級を開設する団体及び参加者募集の周知を図る。			
指標名	家庭教育学級・幼児家庭教育学級・女性学級の参加団体数	R3 実績値		R5 目標値
		6 団体		10 団体

事業（取組）名	生涯学習出前講座開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・登録市民講師や市の職員が直接出向いて学習機会を提供する「まいどおおきに出前講座」を実施する。			
指標名	講座受講者アンケートで「非常に満足」または「満足」と回答した割合	R3 実績値		R5 目標値
		75.0%		85.0%

事業（取組）名	生涯学習推進本部運営事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	30 千円（30 千円）	
取組内容	・社会教育関係者と行政職員を対象とし、生涯学習を推進していくための研修会を実施する。			
指標名	研修会受講者アンケートで「学びの場となった」と回答した割合	R3 実績値		R5 目標値
		—（*）		75.0%

事業（取組）名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	3,954 千円（3,954 千円）	
取組内容	・ 市内文化財保護のため、味舌天満宮（府指定文化財）修繕にかかる補助金を交付する。 ・ JR 千里丘西口再開発に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施する。 ・ 文化財関連資料の収蔵・整理・保存を進めるとともに、活用を図り、郷土摂津に対する市民の学びを高める。			
指標名	文化財関連資料収蔵数	R3 実績値		R5 目標値
		5,262 点		5,500 点

（*）アンケート実績がないため、R4 より新規アンケートを行います。

事業（取組）名	摂津市史編さん事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	33,830 千円（33,830 千円）	
取組内容	・『新修摂津市史 現代・民俗編』第3巻の編纂を進める。 ・令和4年度に刊行した『新修摂津市史 近世・近代編』第2巻の刊行記念講演会を開催する。 ・市民への一般公開に向けて、歴史資料の収集・整理・保存を進める。			
指標名	①『新修摂津市史』の刊行数 ②本市に関連した歴史資料保存数	R3 実績値		R5 目標値
		① 1冊 ② 41,000点	① 2冊 ② 43,000点	

基本目標
7

学びを支える環境づくり

教育基本法第3条や社会教育法第3条に基づき、生涯を通じた学びを継続するため、学習成果を活かす機会の充実など、人と人とが互いに学び、高め合う環境づくりに取り組みます。またニーズの多様化に対応した学習の場が提供できるよう、社会教育施設の有効な活用を図ります。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	84.3%	87.0%	R3 実績値より増加
2	図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	85.7%	88.0%	R3 実績値より増加

施策及び事業（取組）

⑭学習成果の発表・活躍の場の充実

学習意欲向上のため、イベントや講座等で日頃の学習成果の発表の場を充実します。また、市内で開催されている講座やボランティア活動等の情報を発信するとともに、身に付けた知識・技能を活かし、人が学び合いお互い高め合う継続した学びを支援します。

事業（取組）名	公民館まつり事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	160 千円（160 千円）	
取組内容	・公民館の利用団体（公民館登録クラブ等）が日頃の活動の成果を展示・発表し、地域住民と相互交流を深める。			
指標名	公民館まつり実行委員会アンケートで、「他クラブの活動を知ることにより、活動意欲が向上した。」と答えた割合	R3 実績値	R5 目標値	
		—(*)	75.0%	

事業（取組）名	生涯学習フェスティバル開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,706 千円（2,706 千円）	
取組内容	・参加団体の日頃の活動成果の発表の機会として、生涯学習フェスティバルを開催する。			
指標名	生涯学習フェスティバル実行委員会参加団体数	R3 実績値	R5 目標値	
		18 団体	20 団体	

(*)アンケート実績がないため、R4 より新規アンケートを行います。

事業（取組）名	こどもフェスティバル開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	4,747 千円（4,747 千円）	
取組内容	・参加団体の活動成果や交流の機会を創造するとともに、来場するこども達の健やかな成長と親子のふれあいを深める場を提供するこどもフェスティバルを開催する。			
指標名	こどもフェスティバル実行委員会参加団体数	R3 実績値		R5 目標値
		38 団体		40 団体

⑮社会教育施設の活用

公民館は、生涯学習活動及び地域コミュニティ活動の拠点として、より多くの市民が活用できるよう、空室の有効活用等を行います。また、市民図書館及び鳥飼図書館センターの図書館サービスの充実を図り、地域全体の教育向上に資する展開を行います。

事業（取組）名	公民館運営事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	37,459 千円（37,459 千円）	
取組内容	・利用者の利便性向上のため、公共施設予約システムを導入し、オンラインでの貸室仮予約の受付を実施するとともに、公民館に設置する備品及び図書の充実を図る。			
指標名	公民館利用者アンケートにて「また利用したい」と回答した割合	R3 実績値	R5 目標値	
		84.3%	87.0%	

事業（取組）名	図書館運営事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	134,112 千円（134,112 千円）	
取組内容	・季節や時候に合わせた図書展示や様々な年齢に応じたイベントを開催し、図書館サービスの充実を図る。 ・市内小中学校で配備されているタブレット等も活用し、電子図書館サービスの利用を促進する。			
指標名	電子図書貸し出し冊数	R3 実績値		R5 目標値
		—(*)		4,800 冊

(*)R4 より電子図書館サービスを実施しているため、R3 実績値は-としています。

事業（取組）名	子ども読書活動推進事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・ 未就学児を対象とした読み聞かせやブックスタート等のイベントを実施する。 ・ 小中高生向けのおすすめ書籍の紹介等を行い、家庭における読書及び図書館利用を推進する。 ・ 図書館イベントの紹介及び新刊案内を行い、学校との連携を密にする。			
指標名	子ども（0 歳～18 歳）の図書館利用者登録率	R3 実績値		R5 目標値
		23.9%		24.0%

基本目標
8

学びを活かす人づくり

「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」学習し、学習成果を活かす機会の充実を図り、生涯学習活動の活性化だけでなく地域での活躍につなげる、学びを市民一人ひとりが活かす人づくりを推進します。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」と回答した割合	100%	100%	R3 実績値より増加
2	生涯学習大学受講者アンケートで「今後、地域や社会活動に役立てたい」と答えた割合	100%	100%	R3 実績値より増加

施策及び事業（取組）

⑩多様な主体による指導者の育成

講座などをきっかけとした仲間づくり、絆づくりを進め、「学ぶ人」から「指導者」への学習活動の担い手を育成します。また、地域における学習活動の活発化を図るため、地域・団体活動のリーダー、コーディネーター、ボランティア等の人材を育成します。

事業（取組）名	青少年団体育成事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,790 千円（2,790 千円）	
取組内容	・青少年の健全な成長を目指して、地域で主体的に活動する団体（淀川わいわいガヤガヤ祭・ボーイスカウト・ガールスカウト・こども会）への活動を支援する。			
指標名	活動支援団体の会員数	R3 実績値		R5 目標値
		1,177 人		1,177 人

事業（取組）名	青少年リーダー養成事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,726 千円（2,726 千円）	
取組内容	・小学生を対象に青少年リーダー育成を目的とするチャレンジャークラブの実施及び冒険プログラム講習会を実施する。			
指標名	青少年リーダー養成事業参加者アンケートにて「学んだことを生活で活かしたい」と答えた割合	R3 実績値	R5 目標値	
		—(*)	85.0%	

(*)アンケート実績がないため、R4 よりアンケートを行います。

基本目標 8 学びを活かす人づくり

事業（取組）名	せつつ生涯学習大学事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	441 千円（441 千円）	
取組内容	・生涯学習リーダーやコーディネーターを養成するため、生涯学習大学、生涯学習大学院を開催する。			
指標名	生涯学習大学受講者アンケートで「まちづくりについて考える機会になった」と回答した割合	R3 実績値		R5 目標値
		—（*）		70.0%

(*) アンケート実績がないため、R5 に新規アンケートを行います。

基本目標
9

安全安心で快適な教育環境づくり

子どもたちが1日の大半を過ごす学校や社会教育施設等において、安全安心で快適な教育・生活環境となるよう整備するとともに、災害時に地域住民の避難所として活用できるように、防災機能の強化を図ります。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	保護者アンケートで「学校は安全安心に配慮した施設・設備・環境を整えている」と肯定的回答をした割合	87.0%	88.0%	R3 実績値より増加

施策及び事業（取組）

⑰教育施設の整備

老朽化が進む施設の改修や、安全安心で快適な教育環境・生活環境の整備、地域住民の避難所としての防災機能の強化を図ります。また児童生徒のより良い教育環境を整えるため、学校規模及び配置の適正化を図ります。

事業（取組）名	小中学校施設改修事業	担当課	教育政策課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	391,995 千円（376,139 千円）	
取組内容	・千里丘小学校の建て替えに向け、プール解体工事等を実施するとともに、仮設校舎の整備を行う。 ・熱中症対策と避難所における防災機能の強化のため、鳥飼小学校、味舌小学校及び第四中学校体育館のエアコン設置工事を行うとともに、小学校 6 校及び中学校 3 校体育館のエアコン設置に係る実施設計を行う。			
指標名	体育館にエアコンの設置が完了した学校数	R3 実績値		R5 目標値
		0 校/15 校		5 校/15 校

事業（取組）名	小中学校施設運営事業	担当課	教育政策課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	427,936 千円（96,962 千円）	
取組内容	・学習環境の向上及び環境負荷の低減を図るため、小学校 6 校及び中学校 2 校の照明灯をリースで LED 化する。 ・より快適な教育環境の確保に向け、老朽化したトイレの改修にあわせ、洋式・乾式化等の簡易な改修を行う。			
指標名	校舎全体の照明の LED 化が完了した学校数	R3 実績値		R5 目標値
		3 校/15 校		14 校/15 校

事業（取組）名	小中学校通学区域等事業	担当課	教育政策課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	24,705 千円（一）	
取組内容	・令和４年度に提出された小中学校通学区域等審議会の答申に基づき、鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置計画を策定する。			
指標名	適正規模・適正配置計画の策定	R3 実績値		R5 目標値
		—		計画の策定

事業（取組）名	図書館施設管理事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	13,935 千円（13,935 千円）	
取組内容	・利用者の安全安心な施設の利用に向けて、定期的な施設点検及び不具合箇所の修繕を実施する。 ・市民図書館の外壁修繕に係る実施設計を行う。			
指標名	図書館利用者アンケートで「図書館の設備や機器について」満足・ほぼ満足と答えた割合	R3 実績値		R5 目標値
		84.6%		85.0%

⑩感染症の予防・対策

学校は児童生徒が集団生活をしており、また新型コロナウイルスをはじめとする感染症が発生、拡大しやすい状況であるため、学校の新しい生活様式に沿って、感染予防及び対策を図ります。

事業（取組）名	小中学校保健事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	37,679 千円（37,679 千円）	
取組内容	・学校内での感染症の拡大防止を図るため、各学校に消毒用アルコールや手洗い石鹸等を配布するとともに手洗いの徹底を啓発する。			
指標名	児童生徒アンケートにおいて「帰宅後も忘れずに手洗いをしている」と回答した割合	R3 実績値	R5 目標値	
		—(*)	80.0%以上	

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業 （再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	198,576 千円（37,678 千円）	
取組内容	・令和４年度に引き続き、各校２名ずつスクールサポーター★を配置し、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防を図るため、学校内の消毒作業等を行う。			
指標名	教職員アンケートにおいて「あなたは、スクールサポーターの配置によって事務負担が軽減したと思いますか」の肯定的回答	R3 実績値	R5 目標値	
		88.8%	92.0%	

(*)アンケート実績がないため、R5に新規アンケートを行います。

★の説明は37頁に記載しています。

⑨学校給食の安全衛生管理

小学校給食は小学校給食調理場の衛生管理を徹底し、食の安全を確保します。中学校のデリバリー方式選択制給食は継続実施し、並行して、全員喫食を目標とした給食センター方式を検討します。

事業（取組）名	中学校給食事業（再掲）	担当課	教育政策課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	86,605 千円（11,681 千円）	
取組内容	・保護者試食会の開催や人気献立 week など中学校給食の喫食率向上に向けた取組を進めるとともに、中学校期の食の大切さを啓発する。 ・令和8年度からの中学校給食全員喫食に向けて、鶴野第2公園における給食センター設置にかかる基礎調査を実施する。			
指標名	中学校給食喫食率	R3 実績値	R5 目標値	
		6.9%	10.0%	

事業（取組）名	小学校給食事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	427,070 千円（427,070 千円）	
取組内容	・食中毒等の防止のため、抜き打ちのふき取り検査や定期的な研修を実施し、手洗い消毒など小学校給食調理場での衛生管理を徹底するよう指導する。 ・衛生管理マニュアル順守徹底を図るため、効果検証会議を適宜行う。			
指標名	食中毒の発生件数	R3 実績値	R5 目標値	
		0 件	0 件	

基本目標

10

地域全体で教育に取り組む体制づくり

子どもたちの生きる力は、学校だけで育めるものではなく、地域社会とのつながりや信頼できる大人との関わりを通して育ちます。学校は「地域とともにある学校づくり」を行い、地域は子どもや学校を見守り支え、相互に連携することで、学校・地域全体で教育力の向上を図ります。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R3 実績値	R5 目標値	R7 目標値
1	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と回答した学校の割合 ^{【◆】} （小中学校）	46.7%	53.3%	100%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

②⑩学校・家庭・地域の連携強化

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体になって、特色ある、「地域とともにある学校づくり」を推進します。

事業（取組）名	学校協議会※ ¹ 及び学校運営協議会※ ² の積極的運営	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	198,576 千円（300 千円）	
取組内容	・学校協議会及び学校運営協議会において、学校経営計画や学校自己診断、各種調査結果を報告し、学校運営に関する内容について協議する。 ・令和 4 年度に学校運営協議会を設置したモデル校の取組を普及させることで、各学校における地域と協働した学校運営を支援する。			
指標名	「地域学校協働本部やコミュニティスクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と回答した学校の割合【◆】（小中学校）	R3 実績値	R5 目標値	
		46.7%	53.3%	

※1 学校協議会：保護者や地域住民の声を学校運営に反映し、また校長の求めに応じて、保護者・地域住民・有識者等が様々な視点から意見交換や提言を行う組織。

※2 学校運営協議会：教育委員会から委嘱・任命された地域住民や保護者、学識経験者などが委員となり、一定の権限と責任をもって学校運営に関わる。本市では、令和 4 年度より段階的な設置を進めている。学校運営協議会が設置された学校を「コミュニティスクール」と呼ぶ。

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

事業（取組）名	積極的な情報発信	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・学校等（こども園、図書館などを含む）のイメージアップに係る広報活動を行う。 ・学校広報活動等支援員※が取材した内容を動画チャンネルや市ホームページへ掲載し、情報発信する。			
指標名	保護者アンケートにおいて「本市の教育活動等に関する動画（YouTube チャンネル）による発信は、学校や市の取組を理解することにつながっていると思いますか」と肯定的回答をした保護者の割合	R3 実績値	R5 目標値	
		72.2%	80.0%	

※学校広報活動等支援員：学校等（こども園、図書館など）の特色ある取組、教育委員会の各事業の活動などを取材し、摂津市の Web ページ、YouTube チャンネル、広報紙等で発信する。

事業（取組）名	地域学校連携活動支援事業	担当課	子育て支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,658 千円（1,658 千円）	
取組内容	・各中学校区の地域教育協議会（すこやかネット）で実施する子どもの見守り活動や行事等を通じて、学校・家庭・地域の連携を強化し、地域全体の教育力の向上を支援する体制づくりを推進する。			
指標名	各中学校区の主行事の参加者数	R3 実績値		R5 目標値
		926 人		2,000 人

㊦子どもの安全見守り活動の充実

学校・家庭・地域と一体となって、登下校時の交通・防犯の観点で見守り活動を行い、また通学路の安全対策を行うなど、子どもたちの安全を確保します。

事業（取組）名	小学校施設改修事業（再掲）・安全対策事業【重点事業】	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	391,995 千円（15,856 千円） 18,610 千円（4,356 千円）	
取組内容	・不審者の侵入防止に向け、小学校通用門のオートロック化を順次進めるとともに、小学校受付員の配置時間等の見直し行う。 ・日本郵便（株）との包括連携協定に基づき、文書集配業務と併せた子どもの見守り活動を実施する。			
指標名	学校運営中の不審者侵入事案	R3 実績値	R5 目標値	
		0 件	0 件	

事業（取組）名	スクールガード・リーダー配置事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	546 千円（546 千円）	
取組内容	・登下校時の不審者事案の抑制や危険箇所の把握のため、スクールガード・リーダーを 5 名配置し、巡回指導を行う。			
指標名	スクールガード・リーダー巡回数	R3 実績値	R5 目標値	
		220 回	220 回	

事業（取組）名	小中学校通学区域等事業 （再掲）	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	24,705 千円（24,705 千円）	
取組内容	・登下校時の児童生徒の安全確保のため、市内 25 カ所に交通専従員を配置し見守り活動を実施する。 ・通学路等安全プログラムに基づき、合同点検を実施し、安全対策を行った内容について、写真等を用いて web ページで公表する。			
指標名	通学路における改善要望があった項目のうち、改善可能箇所に対する措置完了率	R3 実績値	R5 目標値	
		100%	100%	

事業（取組）名	地域子ども安全安心事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	446 千円（446 千円）	
取組内容	・こども 110 番の家の登録件数を維持するとともに、子どもの安全見守りボランティアの登録者数を増やし、地域の子どもの安全対策に取り組む。 ・子どもの見守りシステムについて、先進市の取組事例や活用方法を参考にし、検討するとともに関係部署と導入に向けた協議を行う。			
指標名	こども 110 番の家の登録件数	R3 実績値		R5 目標値
		1, 375 件		1, 375 件

摂津市が配置等している支援人材の一覧

名称	内容	掲載
国際理解教育社会人講師	児童生徒に他国・地域の言語や文化について、活動を通じて説明・紹介を行う。	P. 6
日本語指導講師	海外からの帰国子女及び渡日児童生徒に対する適切な学校教育の機会の確保を図るために母語指導も含めて日本語指導を行う。	P. 6
学校読書活動推進支援員	児童生徒の読書活動を推進させることを目的とし、学校図書館の環境整備や図書の推薦、教員の読書指導の支援等を行う。	P. 7
学校教育相談員	経験の浅い教職員の授業、学級経営、生活指導などについての助言を行うため、市内各校への巡回指導を行う。	P. 10
学習サポーター	児童生徒の学力向上と学習習慣の定着のため、小中学校における学習活動の支援を行う。	P. 11
部活動指導員	部活動顧問として専門的な技術指導による生徒の技術向上と当該部活動の顧問教員の業務時間、精神的な負担軽減を行う。	P. 14
部活動補助員	当該部活動の顧問教員のサポート的役割として、生徒に対して専門的な技術指導を行う。	—
外国語活動支援員	学期に2回程度各小学校に派遣し、教員の外国語活動・外国語の指導力向上のためのアドバイス等を行う。	P. 16
外国人英語指導助手 (ALT)	英語を母語とする外国人を中学校区に1名を通年派遣し、外国語活動や外国語の授業において学級担任や教科担当とのチームティーチングを行う。	P. 16
特別支援教育推進専門員	学校における個に応じた指導と支援を充実させるため、専門家が市内各校を巡回し、指導助言を行う。	P. 18
進路選択相談員	高等学校、専門学校、大学等への進学に際して、経済的理由等により進学または就学を行うことが困難な生徒及びその保護者に対して相談、支援を行う。	P. 19
スクールソーシャル ワーカー (SSW)	不登校や問題行動等の課題を抱えた子どもに対して、福祉の視点を取り入れた支援方法を用いて課題解決を行う。	P. 20
スクールカウンセラー (SC)	児童とその保護者を対象に、発達相談や教育相談を行う。	P. 20
さわやかフレンド	不登校の児童生徒に対して、学生・大学院生による有償ボランティアが話し相手や遊び相手、学習補助を行う。	P. 21
教育支援嘱託員	適応指導教室(パル)に通う不登校の児童生徒を対象に、学習指導や社会的自立のための支援を行う。	P. 21
スクールサポーター	教員が子どもと向き合う時間を確保するため、教職員の事務作業負担を軽減する。	P. 32
ICT支援員	市内小中学校の教員に対して、タブレット型PCの活用事例等や授業提案を行う	—
障害児等支援員	重度重複障害児童生徒が在籍する学校に配置し、対象児童生徒の生活介助・訓練・作業及び学習指導の補助を行う。	—
教育活動支援員	校長の学校経営方針のもと児童生徒の個別の学習指導や生活指導の支援、集団指導の支援などを行う。	—